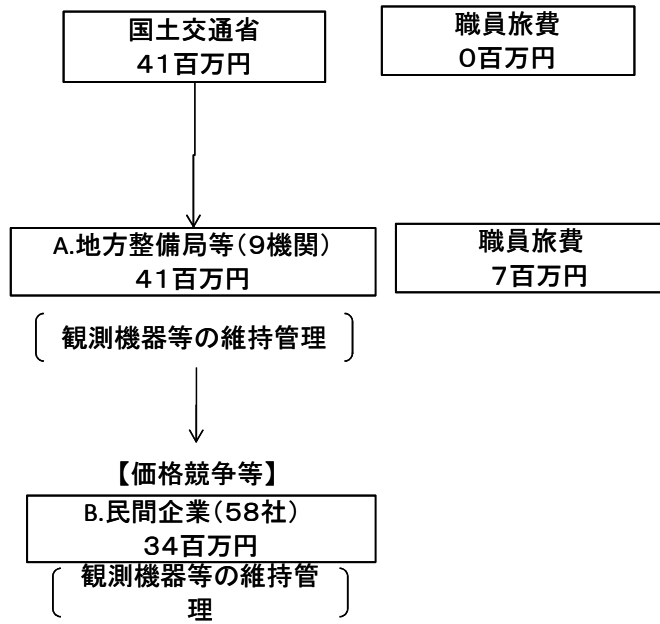


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	河川水理調査に必要な経費		<b>担当部局庁</b>	水管理・国土保全局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	S26～		<b>担当課室</b>	河川計画課河川情報企画室		室長 五道仁実		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	4 水害等災害による被害の軽減 12 水害・土砂災害の防止・減災を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	国土調査法		<b>関係する計画、通知等</b>	水文観測業務規程				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)</b>	水位、流量、雨量データなどの基礎的な河川情報を長期的に精度よく収集・蓄積することを目的とする。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	国土交通省河川局所管の水位、流量、雨量等の観測所や観測機器について、定期的な点検を行い稼働状況を確認するとともに、消耗品の交換等を行うものである。 また、観測データの精度向上を図るために整理・照査を行い、資料を作成するものである。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算	52	52	42	42	42	
		補正予算	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	0		
		計	52	52	42	42	42	
	執行額	51	51	41				
執行率 (%)	97.8%	98.0%	98.5%					
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	水位、流量、雨量の基礎データを収集、分析することにより、総合的な河川管理等に資するものであり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績					
			達成度	%				
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	雨量観測所381箇所及び水位・流量観測所452箇所の計833箇所について点検等を実施		活動実績 (当初見込み)	箇所	833箇所	833箇所	833箇所	—
					833箇所	833箇所	( ) ( )	
<b>単位当たり コスト</b>	5千円(実績額/箇所)		算出根拠	実施箇所あたりのコストを算出				
<b>平成23・24年度 予算内訳</b>	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	河川水理旅費	7	7					
	水害・土砂災害対策調査費	35	35					
	計	42	42					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>打合せ協議により全体計画、業務の進捗状況等の把握を行い、適正に業務が遂行されているかを確認を行っている。調査項目、検討項目などのさらなる精査を行い、可能な限りのコスト削減に努める。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 観測所の点検等において効率化を図るなどコスト削減に努めている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状維持	<p>これまでの知見を活かしつつ、さらに水位、流量、雨量データ等、調査項目の重点化等を進め、コスト削減に努める。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)

※東日本大震災による現地での実情を鑑み、震災により多数の被災箇所を抱える東北地方整備局・管内各事務所、関東地方整備局の一部の事務所からの支出については、本調査の対象外としている。

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.東北地方整備局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	観測機器等の維持管理	6			
その他	職員旅費等	1			
計		7	計		0
B.(株)拓和			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	観測機器等の保守点検業務	4			
計		4	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東北地方整備局	観測機器等の維持管理	7		
2	関東地方整備局	観測機器等の維持管理	6		
3	北海道開発局	観測機器等の維持管理	5		
4	九州地方整備局	観測機器等の維持管理	5		
5	中部地方整備局	観測機器等の維持管理	5		
6	近畿地方整備局	観測機器等の維持管理	4		
7	中国地方整備局	観測機器等の維持管理	3		
8	北陸地方整備局	観測機器等の維持管理	3		
9	四国地方整備局	観測機器等の維持管理	3		
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)拓和	観測機器等の保守点検業務	4		
2	(株)ソッキテック	観測機器等の保守点検業務	3		
3	(株)富士建設コンサルタント	観測機器等の保守点検業務	2		
4	服部電池(株)	観測機器等の保守点検業務	2		
5	(株)福田水文センター	観測機器等の保守点検業務	2		
6	(株)仙台測器社	観測機器等の保守点検業務	1		
7	(有)上松精機	観測機器等の保守点検業務	1		
8	(株)久永	観測機器等の保守点検業務	1		
9	(株)北開水工コンサルタント	観測機器等の保守点検業務	1		
10	精密舎(株)	観測機器等の保守点検業務	1		